

第四期環境基本計画 環境方針	回	月 日	内 容	
全般	1	2017/12/14	委嘱状交付、市長挨拶、自己紹介	
	1		武蔵野市の環境行政について、 第四期環境基本計画について	・現在までの市環境行政の取り組みについて ・計画について
	2	2018/3/8	第10期環境市民会議における検討事項について	・第10期の検討事項の方向性について 環境基本計画とEMSの進捗管理、第六期長期計画への提案、第五期環境基本計画策定の準備、実地研修
	6	2018/10/4	平成29年度「武蔵野市の環境保全」について	・環境基本計画に基づく施策や事業の展開にあたるEMSでの進捗管理と、「環境保全」での報告
	11	2019/7/1	第五期環境基本計画の策定について	・策定スケジュール ・庁内推進体制
【環境方針1】 環境配慮行動のしくみづくり	2	2018/3/8	地球温暖化について	・地球温暖化について 気候変動とCO2濃度、エネルギー消費量の推移との相関。世界の気候変動対策の転換点としてのCOP21でのパリ協定の概要について。市のCO2排出量、エネルギー消費量の現況。
	6	2018/10/4	「エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方（案）」について	・エコプラザ（仮称）検討市民会議の検討のまとめが基本
	8	2019/1/24	環境・気候変動と世界の自治体	・一般社団法人イクレイ日本から報告 パリ協定を受け、自治体主導による気候変動対策も積極的。プラネタリー・バウンダリーという概念、IPCCによる特別報告書からも温暖化を1.5℃以下に抑えるために社会のあらゆる側面で大転換が必要で、2050年にはCO2排出量ゼロを達成する必要がある。複雑に関係しあう課題の解決のために、SDGsを活用していく。危機感を自分事ととらえ、各々が持続可能性を追求することが求められている。
	9	2019/3/22	「エコプラザ（仮称）管理運営方針」について	
【環境方針2】 エネルギーの地産地消	3	2018/5/22	スマートシティむさしのをめざして ～エネルギーのスマート化の推進①	・市のエネルギーの特徴 エネルギー賦存量が少ない、既成市街地であり大規模な創エネは難しい、家庭部門と業務部門への取り組みの必要性。エネルギー消費の高い3駅周辺や市役所周辺エリアの取り組みが求められる。 ・市のエネルギー見える化への取り組み HEMS設置への助成、CEMSやBEMSの導入
	3	2018/5/22	スマートシティむさしのに向けた成蹊大学の取り組み ～吉祥寺プロジェクト	・産学官による調査結果の紹介 市保健センターでの省エネ機器導入による効果試算 ・成蹊大学での窓ガラスへの散水や自然喚起による効果の紹介 ・成蹊学園へのBEMS導入による電気料金削減実績の紹介
	4	2018/7/19	スマートシティむさしのをめざして ～エネルギーのスマート化の推進②	・エネルギーのスマート化の推進にかかる、公共施設の率先した取り組みの必要性 ・家庭への普及のための助成制度等の支援と啓発の推進
	4	2018/7/19	スマートメーターの概要 (実物の展示)	・東京電力パワーグリッド株式会社の「スマートメータープロジェクト」 スマートメーター設置で、30分ごとに電力使用量を送信・処理するプロジェクト、将来展開
	4	2018/7/19	「見える化」について	・東京ガス株式会社の「my TOKYO GAS」 電気使用量のグラフ化による見える化、省エネアドバイスサービス

第四期環境基本計画 環境方針	回	月 日	内 容	
【環境方針 2】 エネルギーの地産地消	4	2018/7/19	無電柱化の推進に向けた取り組み	・架空配電設備から地中配電設備への変更
	5	2018/8/27	エネルギー関連施設実地研修	・川崎火力発電所での発電過程、LNGを活用した高効率な発電、近隣企業への蒸気供給などCO2削減への取り組みの見学
	5			・藤沢SST(サステナブルスマートタウン)の見学 太陽光発電、蓄電池、HEMS、エネファーム等を地域で備えたエネルギーのスマート化の取り組み、地域コミュニティの活性化
	6	2018/10/4	エネルギー関連施設実地研修の報告	
	6	2018/10/4	「エネルギー地産地消プロジェクト」について	・クリーンセンター発電による電気の有効活用とCO2排出量の削減の取り組み
	7	2018/12/6	住宅の省エネ化について	・旭化成ホームズ株式会社のZEH(Net Zero Energy House) 実現への取り組み エネルギーを極力必要としない(断熱)、エネルギーを上手に使う(省エネ設備)、創エネ(太陽光発電)
	7	2018/12/6	エネルギー政策課題抽出のための論点整理	・家庭部門の取り組みを推進するための行政の役割 助成か、最新機器を導入する方針で助成してよいか、自主的な取り組みのための支援か ・啓発するために適切な情報とは ・業務部門への行政の役割は、アメ(助成)かムチ(環境配慮指針等による指導)か ・中小規模事業者の省エネのモチベーションを引き出す施策とは
【環境方針 3】 循環型社会の構築	3	2018/5/22	クリーンセンター見学	・クリーンセンターの見学
【環境方針 4】 自然が感じられる環境の確保	9	2019/3/22	武蔵野市の緑の施策について	・「緑の基本計画」と緑の施策について 武蔵野市は緑を市民の共有財産ととらえ守り育んできた。「武蔵野市民緑の憲章」の精神を受け継いできた。近年公有地の緑は増加、民有地の緑は減少傾向。「日々の暮らしの中で緑を楽しむ」をテーマとし、質の高い緑の創出を目標に掲げる。
	9	2019/3/22	生物多様性基本方針について	・生物多様性基本方針について
	10	2019/3/31	玉川上水沿い自然観察会	・玉川上水沿いの多様な生態系について観察 水辺の春先にしか見られない植物 農業ふれあい公園(農地)、境山公園(樹林)
【環境方針 5】 環境と共生したまちづくり 【環境方針 6】 公害対策と生活環境保全	11	2019/7/1	生活環境保全施策について	・環境保全施策について 大気や水質汚染など典型7公害だけでなく、生活騒音や臭気などの生活公害の相談への対応が増えている。放射線対策も継続。ヒアリなど新たな環境問題に対しては関係機関と連携できる体制を整えている。
【環境方針 6】 公害対策と生活環境保全	11	2019/7/1	武蔵野市の下水道の施策について	・下水道施策について 市の下水道処理の概要。下水道管の管理と更新について。雨水浸透設備による水循環の取り組み。地域と連携した臭気対策の推進。